

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 第九期(令和3年度) 事業報告(説明書)

◆事業報告：理事会・総会の開催報告

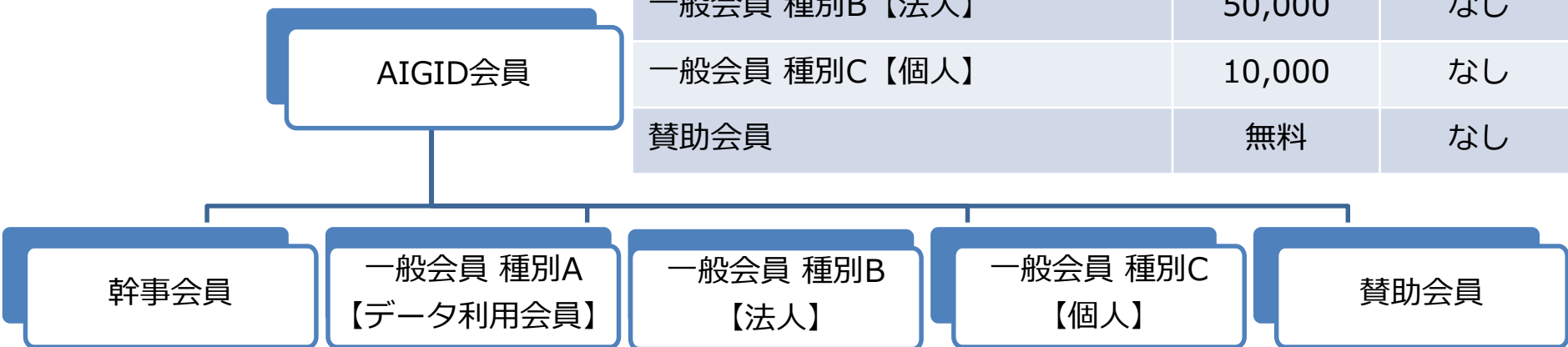
- ◆ 総会1回、理事会3回実施（事業計画、事業報告の承認、役員の改選など）
- ◆ 役員立候補制の導入

- 事業期間
 - － 令和3年10月1日～令和4年9月30日
- 理事会・総会の開催計画

年	月日	会議区分	主な議題
令和3年	11月24日	理事会	・ 第八期（令和2年度）事業報告 ・ 定時社員総会の開催 ・ 東京大学デジタル空間社会連携研究機構との間における連携・協力の推進に関する協定締結 ・ 次期役員候補の選定方法 ・ 内規（電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程理事職務権限規程）の作成
	12月22日	第八回定時社員総会	・ 第八期（令和2年度）決算 ・ 役員任期満了に伴う改選 ・ （報告）第九期（令和3年度）事業計画及び予算計画
令和4年	5月19日	理事会	・ （報告）AIGIDの活動状況
	9月15日	理事会	・ 第九期(令和3年度)事業計画 ・ （協議）役員候補の立候補制導入について

◆会員区分

会員区分	年会費	総会議決権
幹事会員	600,000	○
一般会員 種別A【データ利用会員】	300,000	なし
一般会員 種別B【法人】	50,000	なし
一般会員 種別C【個人】	10,000	なし
賛助会員	無料	なし



本協議会の趣旨に賛同し、社会基盤情報の流通環境の整備に協力をいただくとともに、本協議会の運営にも積極的に関与いただける法人、東京大学空間情報科学研究センター「G空間宇宙利用工学」社会連携・寄付研究部門の参加者で、当該寄付研究部門の活動の一環として運営に積極的に関与いただける者。

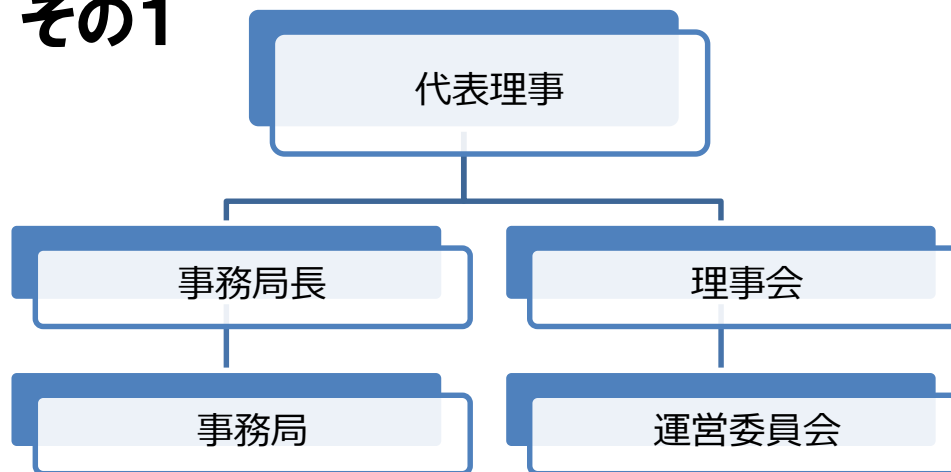
本協議会の趣旨に賛同し、社会基盤情報の流通環境の整備に協力をいただける法人/個人。

プラットフォーム等を通じて提供する有償サービスの一部（データ・サービス提供者の承諾を得られたもの）についての一時的な利用が可能。

本協議会の趣旨に賛同し、社会基盤情報の流通環境の整備に関し、ご助言、ご協力をいただける、国機関、地方公共団体、大学等教育・研究機関、またはそれらに所属する有識者。

※会員別の解説文は、定款より抜粋

◆運営体制 その1

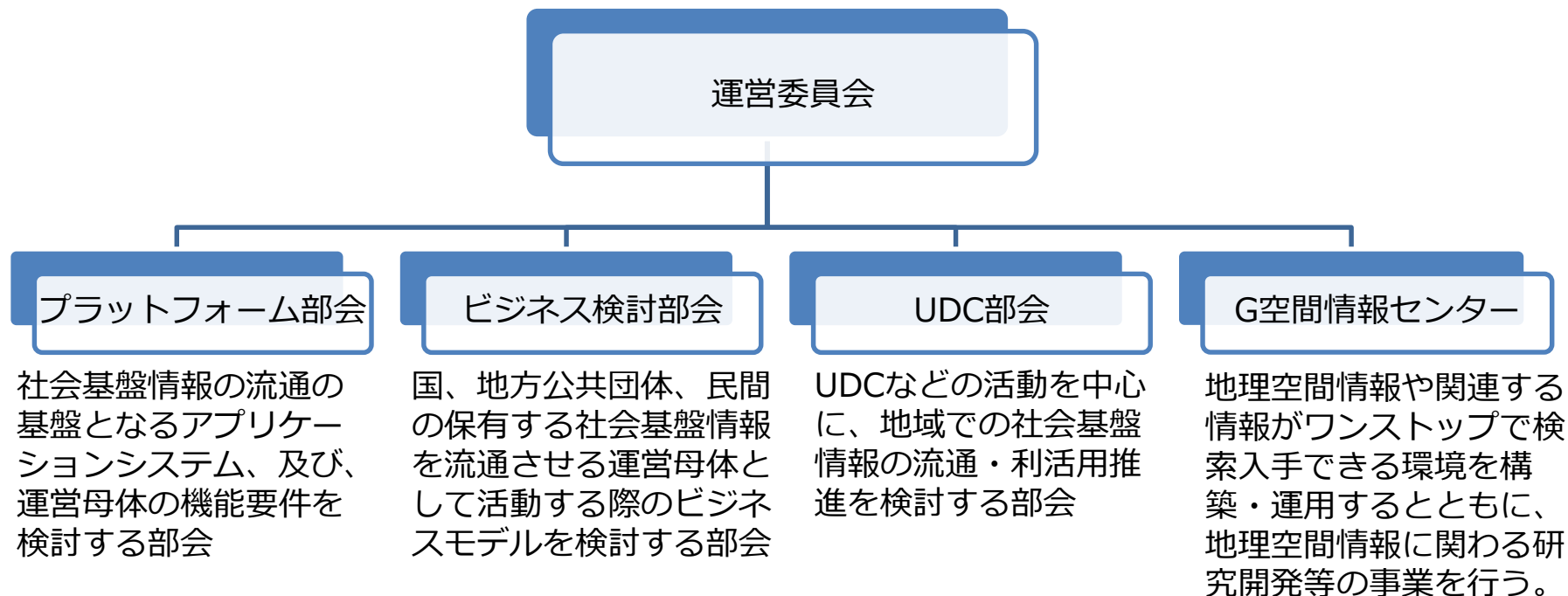


役職	氏名
代表理事	関本 義秀
理事	新井 邦彦
理事	井上 陽介
理事	<u>岩崎 秀司</u>
理事	大伴 真吾
理事	菊地 英一
理事	<u>黒川 史子</u>
理事	瀬戸 寿一
理事	<u>藤津 克彦</u>
監事	<u>石井 邦宙</u>

事務局	氏名	(所属)
事務局長	山本 尉太	(アジア航測)
入会担当	神波 修一郎	(長大)
理事会・総会担当	青島 竜也	(国際航業)
理事会・総会担当	前田 範章	(国際航業)
定款・内規担当	角田 明宝	(アジア航測)

※下線は12月22日定時社員総会にて新任された役員。
理事住田英二、政木英一、上山晃、関口徹、
監事山田晴利は、総会終結時をもって退任。

◆運営体制 その2



役職	氏名	(所属)
プラットフォーム部会 部会長	菊地 英一	(長大)
プラットフォーム部会 副部会長	大伴 真吾	(朝日航洋)
ビジネス検討部会 部会長	石井 邦宙	(アジア航測)
ビジネス検討部会 副部会長	藤津 克彦	(建設技術研究所)
ビジネス検討部会 副部会長	井上 陽介	(価値総合研究所)
アーバンデータチャレンジ部会 部会長	伊藤 顕子	(日本工営)
アーバンデータチャレンジ部会 副部会長	山本 尉太	(アジア航測)
G空間情報センター センター長	柴崎 亮介	(東京大学)



アドバイザリー
会議

G空間情報センター運営の助言を行う。

◆活動報告:社員数(令和4年9月30日現在)

◆ 株式会社 MIERUNE様の入会

◆ 日本工営都市空間株式会社様 (旧: 玉野総合コンサルタント) の社名変更

総社員数

15

・ 社員一覧

社員名	入会日	備考
株式会社 建設技術研究所	H26/4/1	幹事会員
株式会社 パスコ	H26/4/1	幹事会員
アジア航測 株式会社	H26/4/1	幹事会員
株式会社 ゼンリン	H26/4/1	幹事会員
国際航業 株式会社	H26/4/1	幹事会員
朝日航洋 株式会社	H26/4/1	幹事会員
株式会社 長大	H26/4/1	幹事会員

社員名	入会日	備考
株式会社 価値総合研究所	H26/5/20	幹事会員
ESRIジャパン 株式会社	H26/6/12	幹事会員
日本工営 株式会社	H26/9/25	幹事会員
NTTデータ 株式会社	H30/6/29	幹事会員
NTTインフラネット株式会社	R2/4/1	幹事会員
パシフィックコンサルタンツ株式会社	R3/5/10	幹事会員
玉野総合コンサルタント株式会社	R3/5/26	幹事会員
株式会社 MIERUNE	R4/1/25	幹事会員

◆事業の成果

- ◆ G空間情報事業は、ニューノーマルな動きを踏まえつつも、引き続きG空間情報センターを中心とした活動、既受託事業の確実な推進と収益の向上を目指した
- ◆ G空間情報センター設立5周年を迎え、記念シンポジウムの開催、中期経営計画を策定
- ◆ 地理空間情報に関わるデータを本格的に実装・流通するための研究を進めていくことを目的に「ベースレジストリ研究会」を設立

・ 第九期の事業

G空間事業

(1) G空間情報センターの運営

- ・ 「令和4年度 国土交通省におけるデータ連携基盤の構築に関する調査・検討業務」を通じたデータの登録と提供
- ・ 災害時における通行実績、緊急撮影等のデータ提供
- ・ データ有償提供、センター利用会員制度の運用は継続

(2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動

- ・ 国等からの委託事業（収益事業）を通じて、社会基盤情報を蓄積、管理し、利用を図るためのシステム構築、実証実験を実施
- ・ MCF、MCR、MCC普及・促進
- ・ 「民間事業者によるリアルタイム災害情報提供研究会」「デジタルスマートシティ研究会」「ベースレジストリ研究会」
- ・ 有償セミナーの実施

UDC事業

- ・ アーバンデータチャレンジ2021・2022
- ・ 土木学会インフラデータチャレンジとの連携

一般社団法人**社会基盤情報流通推進協議会**

Association for Promotion of Infrastructure Geospatial Information Distribution

◆G空間情報センターの今後の方針とミッション

G空間情報センター中期運営計画2022より抜粋

【基本的な方針】

公共性のある産学官連携した地理空間情報プラットフォームとして継続的に運営する

- 政府系データは網羅しつつあるが、今後も産学官と連携し、取り扱うデータや連携するプラットフォーム、関係機関などを拡充し、公共性のある活動を継続的に行う。

新規性のあるデータ、各種データの基盤となるベース・レジストリの提供を充実

- 3次元、人流データのほか、新規性のあるデータを積極的に公開
- 地名などのデジタル庁等が設定するベースレジストリをG空間情報センターからも一元的に提供

データ保有者や他PFとの連携によるデジタルツインの実現支援

- データ保有者から提供されたデータを加工し、API提供するなど他者との連携を強化
- 個別のデータ提供に留まらず、各地域ごとにデータを統合的に束ね、ユーザーにとって使いやすい状態にするホットスタンバイ状態の都市のデジタルツイン環境を提供

【5つのミッション】

①G空間情報の流通・活用の継続的支援

- G空間情報センターを継続的な運営を行い、G空間情報の流通および活用を支援する。

②社会的な情報連携基盤として他分野PF・DBや組織との連携充実

- これまで繋がりが薄い分野や新たに創出されるPFの連携を図る。

③G空間情報センターのリソースを活用した付加価値の創造

- データ提供するシステムや運用仕組みなどのこれまでの知見やリソースを活かしたサービス提供を行う。

④G空間情報の普及展開活用の支援

- 講習会、セミナーのほか広報活動等やデータを利用・学ぶ機会を創出する人材育成支援を行う。

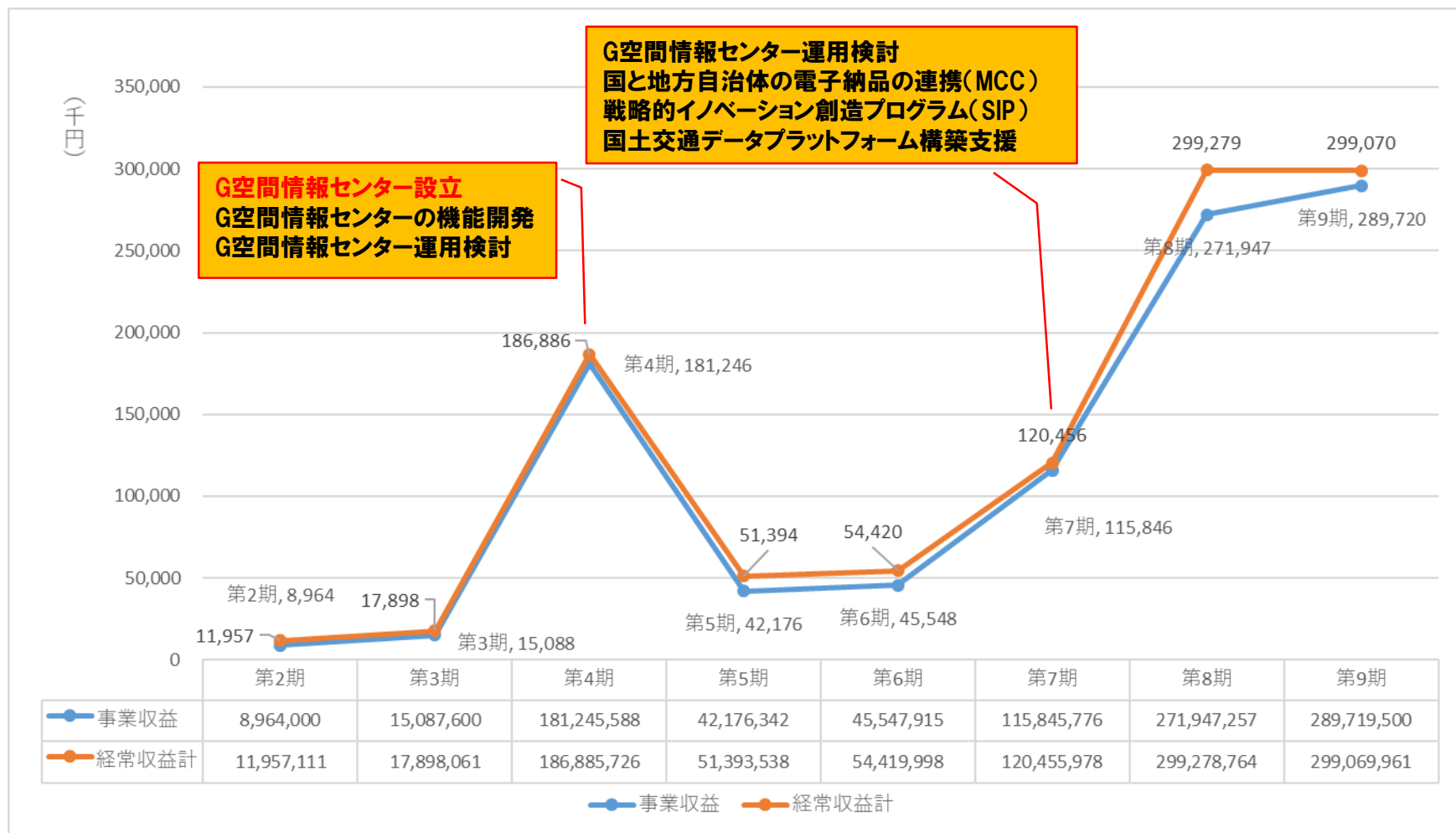
⑤G空間情報の研究開発

- G空間情報の整備・流通に係る技術的な研究開発の実施する。

進捗

◆事業収益の推移

- ◆ 主たる収入は会費、受託事業、データ有償販売、有償セミナーの実施など
- ◆ 事業収益、経常収益ともに前期と同程度に推移
- ◆ 受託案件数も前期と同じ（18件）



◆G空間事業 (1) G空間情報センターの運営

- ◆ 国土交通省国土政策局からG空間情報センター運営に関わる事業を2016年から継続的に受託
- ◆ トップページのリニューアルを実施
- ◆ データセット数は7,868件（R4.9）に、ユーザー数も15,000を超えた

トップページのリニューアル

キャッチコピーの配置

軽快、メンテナンス容易、
レスポンス対応

フォントの改善

データを知る

利活用事例一覧へ

新着のデータ

人気のデータセット

NEWS

すべてのお知らせ ➡

データを探す

キーワードを入力

組織から選ぶ

有償データをさがす

テーマから探す

人の流れ

三次元

防裂

都市計画基本調査

バスデータ

ボーリングデータ

データ掲載ご希望・データプロバイダの方へ

[データ登録申請のお問い合わせ →](#)

[デ一夕登録手順 →](#)

サイトの使い方

使い方

同治元年

APIマニュアル
データベースについて

リンクボタンにフ

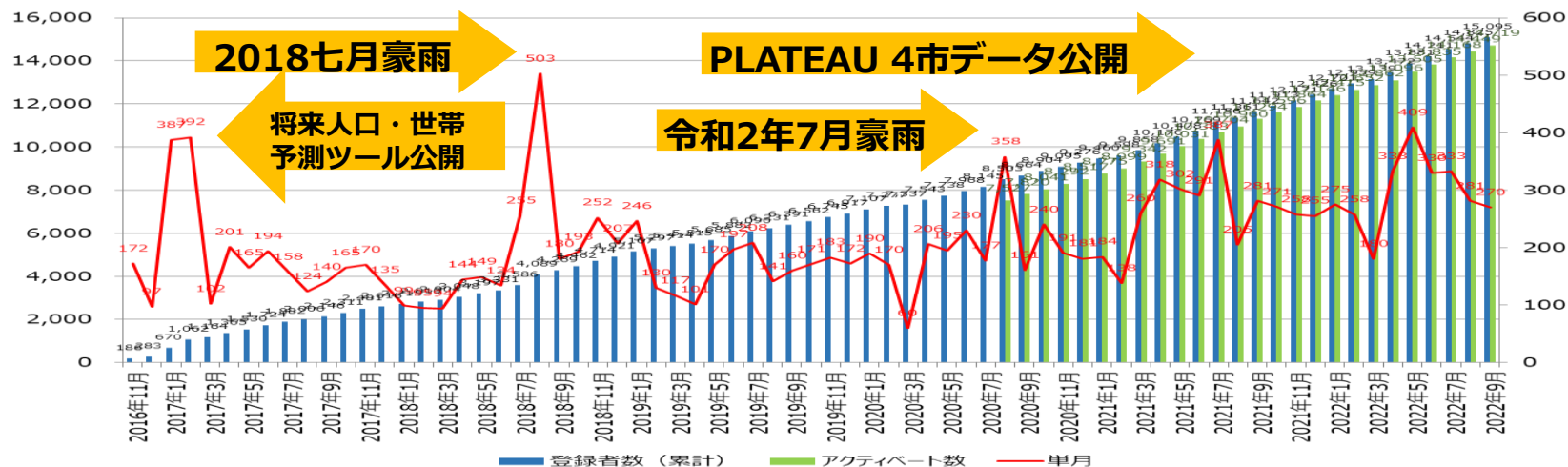
FAQ

© 2005–2007 Autodesk

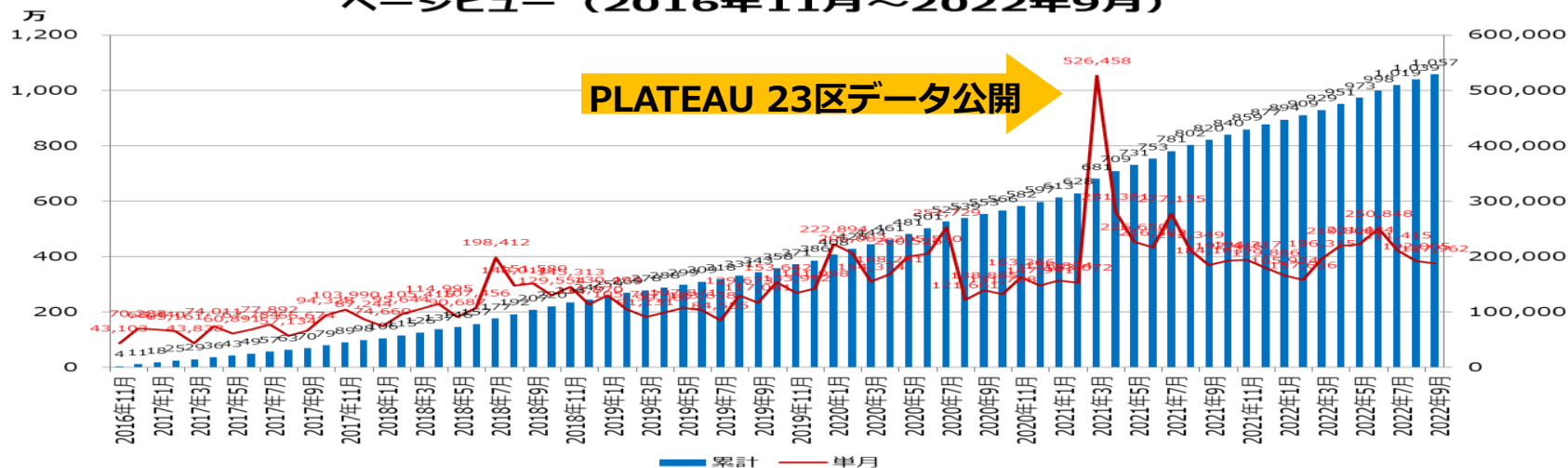
◆G空間事業 (1) G空間情報センターの運営

- ◆ センター開設以来、ユーザー数、アクセス数は堅調に推移、月間平均約20万PVになっている。
- ◆ 3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区へのアクセスが多い (月1万前後)

ユーザ登録者数 (2016年11月～2022年9月)



ページビュー (2016年11月～2022年9月)



◆G空間事業 (1) G空間情報センターの運営

◆ 最近はPLATEAU 3D都市モデル、人流オープンデータが人気

月	データセット	ダウンロード数
9月	国土交通省 都市局 3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区	861
	国土交通省 政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	832
	内閣府 「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会 (3) 工学的基盤 (Vs=700m/s相当層) における長周期地震動波形_13_東京都	445
	環境省 生物多様性センター メッシュ	223
	兵庫県 兵庫県 全域 標高ラスタ/CS立体図 (2010年度~2018年度) (旧データセット)	194
	国土交通省 都市局 3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区	813
8月	国土交通省 政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	495
	環境省 生物多様性センター メッシュ	242
	朝日航洋株式会社 新潟県村上市小岩内地区航空レーザ計測データ	189
	国土交通省 都市局 3D都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2020年度)	107
	国土交通省 都市局 3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区	809
	国土交通省 政策統括官 全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市区町村単位発地別)	769
7月	環境省 生物多様性センター メッシュ	225
	ネオプランニングラボ株式会社 都道府県別500mメッシュ	185
	ネオプランニングラボ株式会社 都道府県別250mメッシュ	126

◆G空間事業 (1) G空間情報センターの運営

- ◆ トライアルデータはデータプロバイダーからの協力を得て、一定の有償データをシステム開発時の試用やプロポーザルなどの企画に使用することに限り、何度でも利用できるようにしたデータパッケージサービス
- ◆ システム開発時に有償データがどんなものかを試行しておきたいといったニーズにも対応
- ◆ まだPR不足

データ利用会員トライアルデータセット

NO	データ名／サービス名	提供企業名
1	「道路プロファイラー」利用サービスの1週間無償利用アカウント	(株)ナビタイムジャパン
2	災害時の通行実績データ	パイオニア(株)
3-1	混雑統計レポートサービス	(株)ゼンリンデータコム
3-2	避難所データベースデータ	(株)ゼンリンデータコム
4	ポイント型流動人口データ	(株)Agoop
5	GOOD-3D 空中写真	朝日航洋(株)
6	航空写真 航空レーザーデータ MMS データ	国際航業(株)
7	リアル3D 都市モデル (250m メッシュ単位)	アジア航測(株)
8	断面交通量 (トラカン) データ API 利用 (緯度経度なし版)	AIGID
9	My City Forecast カスタマイズ機能利用	AIGID
10	有償セミナー参加券	AIGID

◆G空間事業 (1) G空間情報センターの運営

◆ G空間EXPO2021へ出展、記念シンポジウム開催

◆ 記念シンポジウムは新藤議員、関係省庁からの祝辞、G空間情報センターのこれまでの歩み G空間情報の最新動向、パネルディスカッション、これからの歩み、関係企業からの祝辞で 構成

G空間Expo2021

- 出展日:令和3年12月7日(火)～8日(水)
- 開催場所:東京都立産業貿易センター浜松町館 4階展示室
- 出展内容:
 - ・ G空間情報センターHPデモンストレーション



G空間Expo ブース

G 空間情報センター 5周年記念シンポジウム

- 日時: 令和3年 12月 7日(火)14:00～16:00
- 配信URL:
<https://www.youtube.com/watch?v=mxBUQoXX3I4>
- 主催: AIGID



新藤議員からの祝辞



G空間情報センター 5周年記念シンポジウム (2021-12-07)

G空間情報センター
チャンネル登録者数 43人

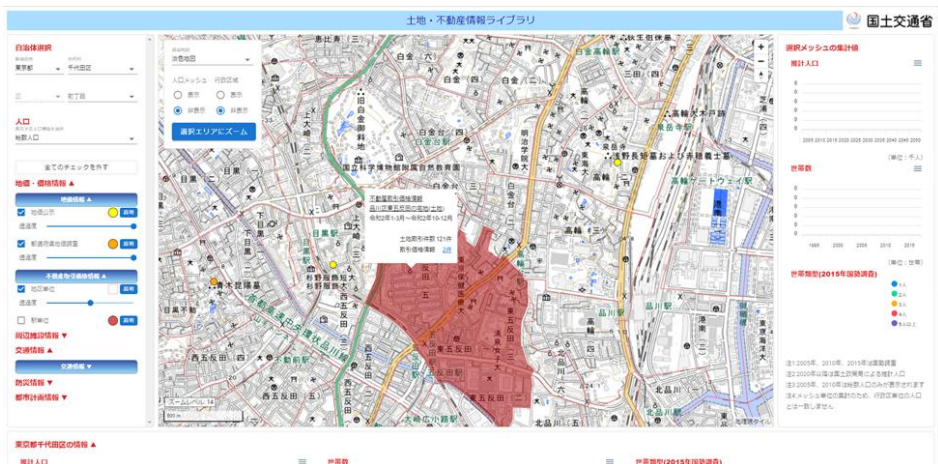
チャンネル登録

12 共有 保存

パネルディスカッション

◆G空間事業(2) 令和3年度G空間情報センターを通じた地理空間情報の流通・利用促進業務

- ◆ センターと分野別PF等との相互連携機能の強化に向けた検討及び実装の推進
- ◆ 土地・不動産情報の可視化における検討及び実装の推進
- ◆ センターを通じた防災情報提供機能の強化に向けた検討及び実装の推進
- ◆ センターの利活用促進に向けた検討及び実装の推進



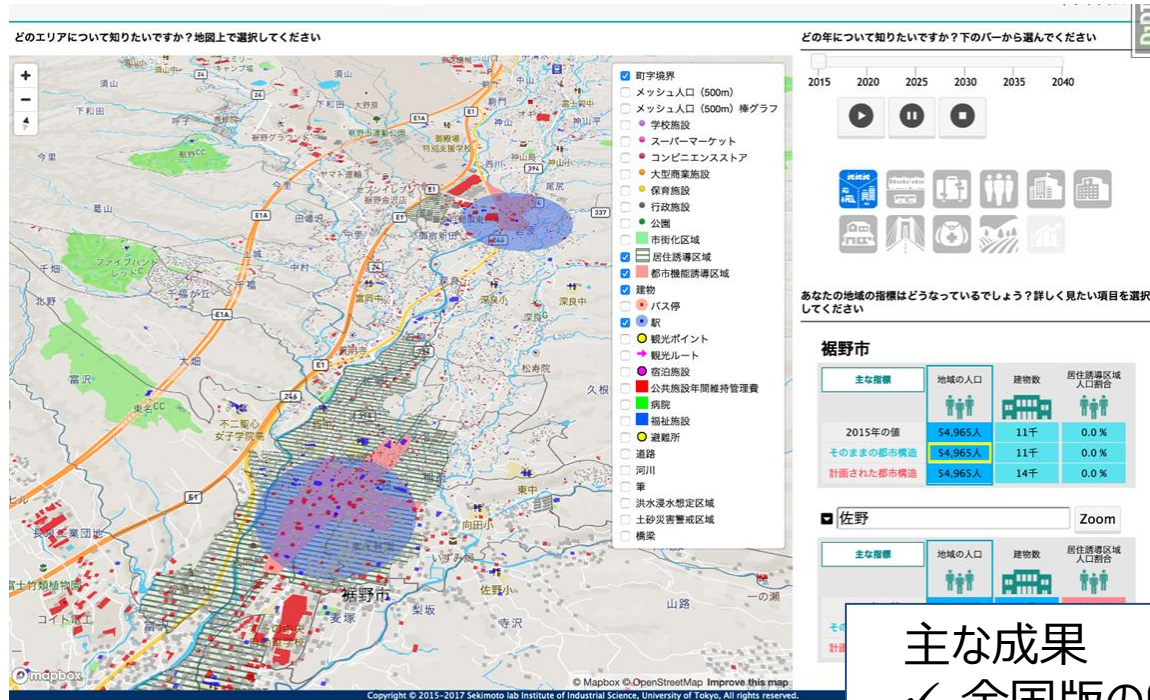
土地不動産情報ライブラリの画面例



静岡県 の点群データの公開(熱海土砂災害への活用)

◆G空間事業 (2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 — まちづくり・都市計画(My City Forecast)—

- ◆ Next-MCFの全国の都市に対応したものをリリースし、デジタルシティとの連携を高めていく活動を実施



主な成果

- ✓ 全国版のβ版公開
- ✓ NextMCFとして外向けの説明資料を整備
- ✓ カスタマイズ機能の駅前開発と道路開通のケーススタディで効果推計の可視化のモックアップを作成

◆G空間事業 (2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 ー インフラ管理(My City Report)ー

- ◆ MCRを安定事業にするため、大規模自治体にリーチして12自治体の新規会員獲得を目指しつつ、都道府県が加入している基礎自治体に無償サービスを提供して、無償サービス利用自治体の30%新規加入を目指す。



主な成果

✓ コンソーシアム運営

- 入会から運用開始後のフォローの手順・時期を取りまとめ、会員に通知
- 市民協働アプリサミットのプログラムを決め、開催
- 新規オプションの料金設定
- 起動画面、ダッシュボード機能改善
営業・広報活動

✓ 東京都下の説明会に参加しなかった自治体に対しキャンペーン案内を送付

- アクティブな活動をしている自治体に協力を依頼して、プロモーションを実施
- 会員向け連続撮影・手動撮影β版
キャンペーン再案内
- 東京都下の地元地域団体の活動にイベントを企画すると共にイベント実施のサポート

◆G空間事業 (2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 ー 建設分野のオンライン電子納品推進(My City Construction) ー

◆ 静岡県の本格運用に続く、2番手グループのフォロー・育成を徹底的に行う



オンライン電子納品とは？ 2020年度の活動内容はこちら。2019年度以前の活動内容はこちら。

MCCの概要 MCCの運営主体 MCCの利用効果【発注者・受注者】

近年、国土交通省における「i-Construction」などの施策が本格的に実施されたことを背景に、地方自治体などの公共工事の現場に關わって、点群データやUAVなどによる撮影データ等からなる三次元データがますます取集されることが見込まれています。一方、こうしたデータの活用はまだまだ進んでいない現状にあります。その理由として、今までの電子納品成果が発注者の電子納品管理システムにきちんと登録されなかったり、DVDやブルーレイといった電子媒体で管理され、これらの簡便なデータを利用することが困難な状況にあると考えられます。

そこで本システムは、受注者が検査前に電子納品成果をアップロードすることで、点群データやUAV撮影データ等の重いデータを円滑にプレビュー表示・検索することや、オープンデータについてはG空間情報センターからも検索可能な、自治体単位でも採集しやすい低コストかつ包括的なオンライン型の電子納品システム（My City Construction）を設計・構築することを目指しています。

本システムの開発ならびに実証実験にあたっては、国土交通省建設技術研究開発助成制度（平成29-30年度）の支援を受け、東京大学生産技術研究所（研究代表：関本義秀研究員）、株式会社建設技術研究所、（一社）社会基盤情報流通推進協議会の3者が主体となり行われ、その後、令和2年度より本格運用に入っています。

オンライン電子納品実施数 *1	実施受注法人数 *2	実施自治体数 *2
1751件	283法人	14自治体

*1 延行で事務局が代行登録したものは含めていません。

*2 延行を含め、実際に1件以上登録した自治体をカウントしています（予定は含んでいません）。

◆ 新着業務・工事データ

令和3年度[第33-55054-01号] 水窪川支川相月川砂防工事に伴う測量・設計業務委託



発注者 静岡県 浜松土木事務所
受注者 不二総合コンサルタント(株)
期間 2022/03/04～2022/10/31

相月川及び相月川第1堤防の左岸側法面について、不安定状況を確認した上、対策工を計画し、工事に必要な図面や数量を作成する。

令和3年度 [第33-16158-70号] (国) 136号トンネル修繕に伴う設計業務委託 (大田子トンネルほか3トンネル)(13-01)



発注者 静岡県 下田土木事務所
受注者 株式会社フジヤマ
期間 2022/03/16～2022/10/31

本業務は、静岡県浜西市西伊豆町内4トンネルにおいて、令和2年度に実施したトンネル点検業務で策定（健全度ランクⅢ）と判定された箇所は補修工法の選定、…

登録件数ランキング

- 第1位 静岡コンサルタント株式会社 (112件)
- 第2位 扇部エンジニア株式会社 (105件)
- 第3位 不二総合コンサルタント株式会社 (98件)
- 第4位 株式会社建設コンサルタントセンター (98件)
- 第5位 株式会社フジヤマ (94件)
- 第6位 株式会社東日 (80件)
- 第7位 株式会社ウインディーネットワーク (78件)
- 第8位 昭和設計株式会社 (63件)
- 第9位 大連測量設計株式会社 (56件)
- 第10位 鈴木設計株式会社 (53件)

お知らせ

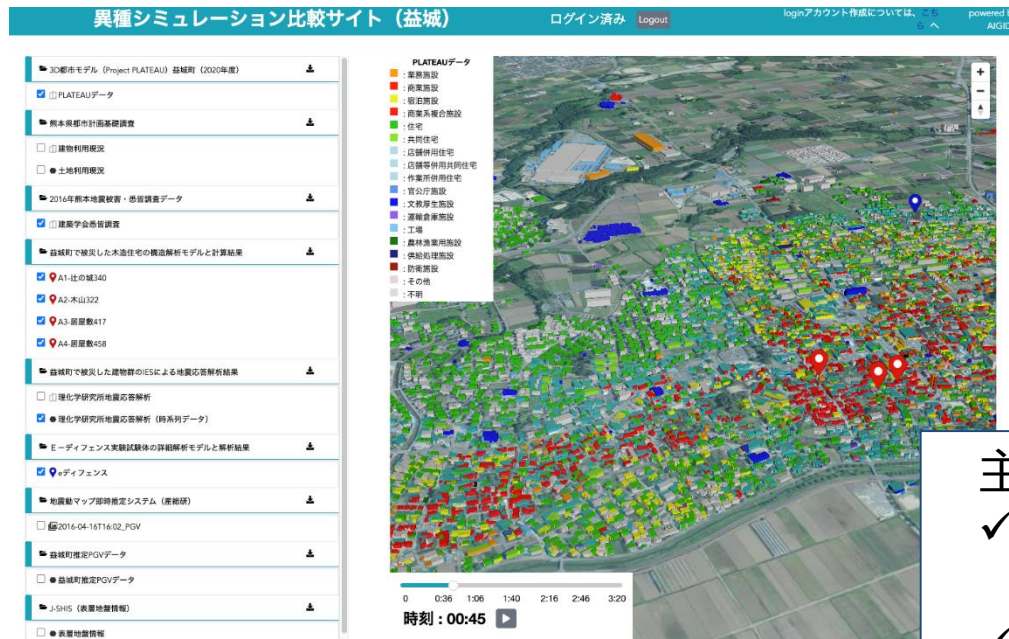
ログイン機能メンテナンスのお知らせ
ログイン機能メンテナンスに伴い、下記の期間MyCityConstructionのログイン機能が使用できません。ご了承ください。
期間：2022/11/2(水) 17:00から2週間程度
詳しくはこちら

主な成果

- ✓ 2番手グループ自治体のフォロー継続（特に茨城県、山口県、長野県）
- ✓ ウィッシュリストに基づき、機能改良項目の要件を具体化し、AP側に伝える
- ✓ 建設コンサルタンツ協会へのオンライン納品の普及に向けた働きかけ

◆G空間事業 (2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 ー 三次元デジタルツイン環境の開発(デジタルシティサービス) ー

- ◆ G空間センターに登録されたデータが円滑に表示され、いくつかの都道府県・政令市でデジタルスマートシティ研究会内の実証実験WGを円滑に進める。
- ◆ G空間センターと、デジタルシティサービスの連携を強化し、全国サービスを展開する



建物属性表示、アニメーション表示等のブラッシュアップを行った防災科研委託研究向けサイト

主な成果

- ✓ 全国サービスとしていくため構築した機能の運用
- ✓ ダッシュボードとの役割分担含めた連携検討
- ✓ 静岡県を対象にいくつかのスケールでパフォーマンス計測を行い、論文化
- ✓ 防災科研委託研究向けブラッシュアップ

◆G空間事業 (2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 — 研究会 —

◆ 各種研究会の設置、運営、支援の実践

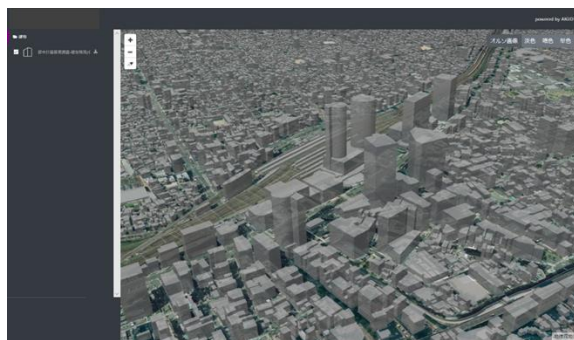
民間事業者によるリアルタイム 災害情報提供研究会

テスト中サイト：<http://vs-card.geospatial.jp/dsasterinfo/#>



- ・R3第3回研究会 令和3年12月16日
- ・R3第4回研究会 令和4年3月17日
- ・R4第1回研究会 令和4年6月30日
- ・R4第2回研究会 令和4年9月20日

デジタルスマートシティ 研究会

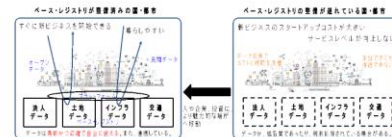


- ・第7回研究会 令和3年12月14日
- ・第8回研究会 令和4年3月15日
- ・第9回研究会 令和4年6月21日
- ・第10回研究会 令和4年9月27日

ベースレジストリ研究会

研究会開催の背景

- ・ベースレジストリ：公的機関等で登録・公開され、様々な場面で参照される、人・法人・土地・建物・資格等の**社会の基本データ**
 - ー 正確性や最新性が確保された社会の基幹となるデータベースであり、日本ではいくつかの台帳等が相当
 - ー なかでも**住所・所在地データ**はあらゆる社会活動において広く利用されるが、現状は標準的な住所・所在地の情報を行政が一元的に管理できておらず、官民含む多様な主体が利用可能な状態になっていない。



① サービス等は外部のものを入力することができるが、**各組織のデータは自力で整備しない**。
② 2018年、2020年のデジタル化推進計画に基づき、デジタル化推進計画として、ベースレジストリは2020年、デジタル化推進計画は2020年以降に整備される。

中村弘太郎・下山紗代子・関治之・平本健二 (2021) 『ベース・レジストリとしての住所・所在地マスターデータ整備について』

- ・第1回研究会 令和4年6月20日
- ・第2回研究会 令和4年9月26日

◆G空間事業 (2) 社会基盤情報の流通・利用促進のための活動 ー 有料セミナー ー

- ◆ 引き続き、センター認知度アップのためにG空間情報センター自体のPR、サービスプロダクトのPRを実践する。また、購買に繋がるイベント出展・ミニセミナー（コロナ禍においてはオンライン開催も計画）の実施及びコンテンツの提供し、購買ユーザ、ファン層を拡大する。

カジュアル
オンライントークセッション
G空間情報を防災に活かしたい。
現場・市民目線の実情と課題
～ みんなで考える今後の防災 with G空間情報 ～

日時： 2021年11月17日(水) 19:00-1時間半程度

場所： あなたのいる場所(zoomオンライン開催)
参加費： 500円 定員： 80名程度

コロナで注目が高まったG空間情報の活用。

G空間情報を防災という視点に置いた時、現場ではどんな実情や課題が見えてくるのか？

参加者の皆様とのコミュニケーション重視の内容です。

自治体の方、地域防災の方、それ以外の方、皆さんウェルカム☆です！

オンライントークセッション
令和3年11月17 開催

【超入門】GIS初めて講座
～コラボ with Aero Asahi～

日時： 2022年4月25日(月)、26日(火)
各日19:00-21:00 (計4時間)

場所： あなたのいる場所(zoomオンライン開催)
参加： 5,000円 定員： 20名程度

なかなか学ぶ機会がない。これからGISを一から学びたい。
そんな方の為の、当講座。
初めて勉強される方に向けたアットホームセミナーです。

GISの歴史や基礎知識、GISを扱う為に必要なソフトウェア“QGIS”のインストールから、基本的な使い方まで、充実のカリキュラムです。

朝日航洋 × G空間情報センター
の共同企画で開催します☆

【超入門】GIS初めて講座
～コラボ with Aero Asahi～

日時： 2022年5月23日(月)、24日(火)
各日19:00-21:00 (計4時間)

場所： あなたのいる場所(zoomオンライン開催)
参加： 5,000円 定員： 20名程度

なかなか学ぶ機会がない。これからGISを一から学びたい。
そんな方の為の、当講座。
初めて勉強される方に向けたアットホームセミナーです。

GISの歴史や基礎知識、GISを扱う為に必要なソフトウェア“QGIS”のインストールから、基本的な使い方まで、充実のカリキュラムです。

朝日航洋 × G空間情報センター
の共同企画で開催します☆

【超入門】GIS初めて講座
令和4年4月25、26日 (2日間)
令和4年5月23、24日 (2日間)
開催

◆UDC事業

- ◆ UDC2021では、第2期の3年目として各種活動と適宜連携を図りながら、地理空間情報の流通や利活用を日本各地でさらに促進させる
- ◆ UDC2022は、「デジタル田園都市、草の根からの地域デジタルトランスフォーメーションを考える」がテーマ

UDC2021の開催(36の地域拠点)

- 作品概要: 2021年12月25日(土)まで
- 作品締切: 2022年01月29日(土)まで
- 最終審査会: 2022年03月12日(土)

オフライン開催



UDC2021作品応募の集計結果

- 本応募作品総数: 130 (前年度: 155) / 応募率83.3%
- 一般部門: 123 / ビジネス・プロ部門: 7
- 概要エントリー総数: 156 (前年度: 208)
- 地域拠点開催イベントからの応募: 34 (26.2%)
(埼玉:5, 和歌山:4, 北海道:1, 岐阜:1, 福岡:3 ...)

- [本作品の応募内訳] () はビジネス・プロ部門でのエントリー数
- アプリケーション : 40 (4) 作品 (前年度:56)
 - データ : 9 (1) 作品 (前年度:11)
 - アイデア : 61 () 作品 (前年度:66)
 - アクティビティ : 13 (2) 作品 (前年度:22)

11

UDC2021 : 金賞1, 銀賞3, 銅賞11

ビジネスプロ部門: 最優秀賞1, 優秀賞4

実行委員会特別賞: 7

オープンガバメント推進協議会特別賞: 金・銀・銅賞各1

土木学会インフラデータチャレンジ賞: 4

UDC2022の開催

- UDC2022キックオフ: 2022年7月1日(金)



アーバンデータチャレンジ2022 インフラデータチャレンジ2022 キックオフ

～デジタル田園都市、草の根からの地域デジタルトランスフォーメーションを考える～

2022年 7 月 1 日(金) 13:30~17:30

http://bit.ly/UDC_channel

主催 一社 社会基盤情報流通推進協議会 (AIGID)
公益社団法人土木学会
東京大学空間情報科学研究センター (CSIS)
東京大学生産技術研究所 (IIS)
東京大学デジタル空間社会連携研究機構 (DSS)
協力 Code for Japan



◆UDC事業

- ◆ UDC2021では、第2期の3年目として各種活動と適宜連携を図りながら、地理空間情報の流通や利活用を日本各地でさらに促進させる
- ◆ UDC2022は、「デジタル田園都市、草の根からの地域デジタルトランスフォーメーションを考える」がテーマ



アーバンデータチャレンジ with インフラデータチャレンジ
2021 ファイナル
 地域の課題解決に貢献する作品を一挙大公開
 ～最終オンライン公開審査会～

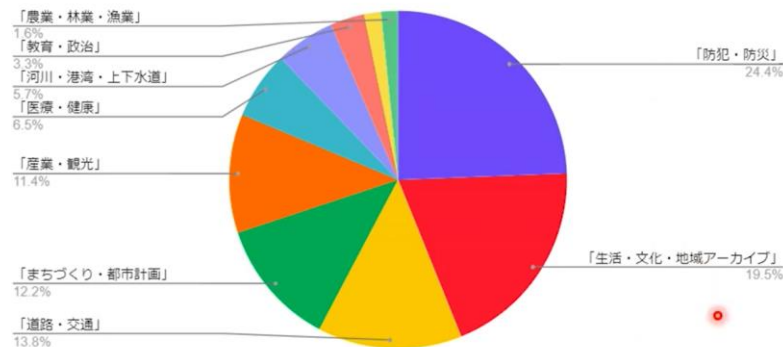
2022年**3月12日**（土）13：00～17：30

https://bitly.com/UDC_channel

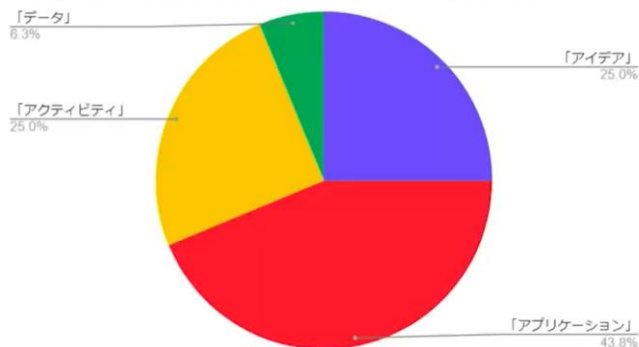


Digital Spatial Society
 デジタル空間社会連携研究機構

一般部門作品 分野別応募数



一般部門 一次選考通過作品 応募タイプ別分類作品



17